

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもクラブ		
○保護者評価実施期間	2026年 1 月 16 日		～ 2026年 2 月 28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22世帯	(回答者数) 18世帯
○従業者評価実施期間	2026年 1 月 16 日		～ 2026年 2 月 28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 15名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3 月 6 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	◎適切に職員を配置し手厚く支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・来所する子どもに合わせて適切な職員を配置している ・必要に応じ個別対応だけでなく家庭の状況も考慮した対応をしている ・デイだけでなくゆづり葉法人として他の事業にも繋げ、デイだけでなく全体的な支援が出来る体制を整えている 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き出来るだけの要望に沿って対応していきたいと考えている
2	◎子どもの特性に合わせた支援を行い、ニーズに応じ丁寧に気持ちに寄り添って対応している	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳にて日々の様子を伝え、連絡帳のやり取りや引き渡し時に保護者と話す事により共通理解を持ち支援に反映している ・子どもの様子をしっかりと見ていき、変化に合わせて支援を常に変更・反映している 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して対応を行っていき、適切な支援を続けていく
3	◎子どもが安心して楽しく通所しており、保護者からも満足度について評価を頂いている	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは楽しくリラックスして過ごせる事が、各子どもが成長していく上での基盤でとても重要と考えているので、とても意識している箇所である ・場合により不十分な面や至らない面もあるが、誠意を持って対応する事を大事としている 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる環境づくりを継続して行っていく ・誠意ある対応を引き続き行っていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	◎スペース、活動場所について充分でない箇所が見られる ※スペースが狭い、バリアフリーが十分でない	<ul style="list-style-type: none"> ・法定基準の広さは確保している。建物の構造上致し方ない面もある ・バリアフリーに関しても、建物の構造上改善が出来ない箇所もある(玄関の段差等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもクラブ活動場所だけでなく目の前の公園や、他の場所(土曜クラブ時での島田での活動)を駆使して広々と活動できる機会を設けていく ・出来るだけ段差を無くす、配慮が必要な子どもに関しては適切な対応(寄り添い対応等)を行い対応していく
2	◎地域や行政の繋がり、保護者同士の交流が充分でない ※児童発達支援センターとの連携や自立支援協議会等の参加が現段階で出来ておらず、行政との繋がりが不十分 ※児童館や放課後児童クラブとの交流が出来ていない ※父母の会、保護者会を現段階で開催はしていない	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の兼ね合いにより連携や会議の参加が出来ない事が見られた ・活動時間の兼ね合いにより交流を持たせる時間が設けられなかった ・父母の会については開催にまで至っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政との繋がりは積極的に持てる様に見直しを行いたい ・地域との関わりは出来る範囲から広げていく事を検討する(地域の催しに参加や長時間の活動で交流できる機会を模索する) ・父母の会については数多くの開催希望があった際、開催の検討を行う
3	◎体制面で不足している箇所がある ※マニュアル(事故防止、緊急時)や安全計画に関して、整備の不十分さがあり、保護者への周知も不足している ※支援終了後に打ち合わせや振り返りの時間が十分に行われていない	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル整備や避難訓練に関しては取り組んでいるが、内容が不足している面がありマニュアル・安全計画の周知も出来ていない ・支援終了後、スタッフによっては他の業務に向かう事がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル整備をより行っていき、研修・訓練の充足を図っていく ・保護者への周知に取り組んでいく ・支援終了後、すぐに行えなくてもtrensでの共有や翌日以降の朝礼などで対応を行い、滞りなくしていく